

企画展 文字とデザイン vol.2

2025年5月17日(土)ー7月27日(日)

前期：5月17日(土)ー6月22日(日) 後期：6月24日(火)ー7月27日(日)

- 日本タイポグラフィ年鑑 2024 作品展〔前期〕
- 第70回ニューヨークタイプディレクターズクラブ展〔前期・後期〕
- タイポグラフィ 60 の視点と思考展〔後期〕



アマウンテン オブ ヒストリー | 深沢夏菜



『タイポグラフィ 60 の視点と思考』

文字をデザイン要素として用いる手法を“タイポグラフィ”と呼びます。日本タイポグラフィ協会の最新年鑑受賞作品展とタイポグラフィ制作の視点と思考について、加えて、ニューヨークのデザイナーによる文字デザインを紹介します。

協力：特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会

企画展 女性のくらしとデザイン

2025年8月2日(土)ー9月28日(日)



化粧品・石鹸のパッケージ



セノオ楽譜

大正時代になると、生活の近代化とともに女性のくらしも家庭内から次第に外へと広がっていきました。生活の変化とともに女性を意識したデザインが増え、欧米のデザインが化粧品のポスターやパッケージに影響を与えるようになりました。本展示では、商業デザイン研究家の佐野宏明氏のコレクションにより大正ロマン・昭和レトロの生活用品や雑誌、広告などから当時の女性のくらしとデザインを見ていきます。

特別展 和食ー日本の自然、人々の知恵ー

2025年10月11日(土)ー12月14日(日)

「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて2023年で10年。世界中でますます注目の高まる和食を、バラエティ豊かな標本や資料とともに、科学や歴史などの多角的な視点から紹介します。フェルケール博物館と清水マリニビルを展示会場とし、日本列島の自然が育んだ多様な食材や、人々の知恵や工夫が生み出した技術、歴史の変遷、そして未来まで、身近なようで意外と知らない和食の魅力に迫ります。



●和食展しずおか

全国巡回展示の内容とともに、静岡県独自の食材を活かした寿司、出汁、缶詰等の特徴ある展示に加えて、食のイベント開催等により清水港周辺で賑わい創出事業も行います。

●フェルケール博物館の事業内容

「和食の成り立ち」として、縄文時代から現代まで、人々の知恵やおもてなしの心、海外との交流を通じて発展してきた和食の歴史を紐解いていきます。また、食に関するイベントや呈茶も行います。



織田信長が徳川家康をもてなした本膳料理の再現模型
奥村彪生監修 御食国若狭おばま食文化館蔵

企画展 柳原良平を形作るものー船・アンクルトリス、そして清水ー

2026年1月1日(木)ー1月31日(土)

柳原良平は東京に生まれ、小学生の頃から船の絵を描き、模型を作っていました。清水とも縁が深く東名高速道路清水インター横の給水タンクのキャラクター絵で知られています。横浜市に寄贈された4,800点余の中から、創作活動の核となった船・アンクルトリス・清水等に焦点を当て、柳原氏の代名詞となった“切り絵”とともに紹介してまいります。

協力：横浜みなと博物館



QE | 油彩画 2014年 横浜みなと博物館提供



樽廻船 | リトグラフ 2006年 横浜みなと博物館提供

1階ギャラリーコーナー

① 岩本ゆうな [写真]

2025年4月1日(火)ー5月31日(土)

② 山下わかば [ミクストメディア]

2025年6月1日(日)ー7月31日(木)

③ 水野 彩 [写真]

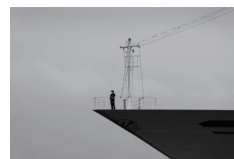
2025年8月1日(金)ー9月30日(火)

④ 光林芽子 [油彩画、ミクストメディア]

2025年10月1日(火)ー11月30日(日)

⑤ 満井亜里紗 [ミクストメディア]

2025年12月2日(火)ー2026年1月31日(土)



お知らせ

2026年2月1日(日)から施設メンテナンスのため全館休館します。なお、2026年3月20日(金)から常設展示室のみ公開し、4月から全館開館します。